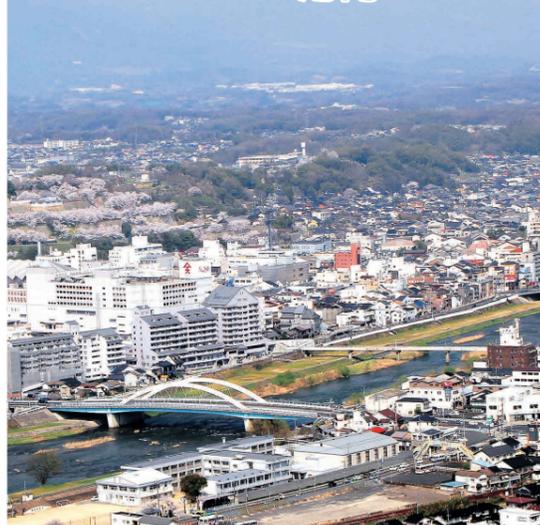


その他の当初予算・条例など

みらい戦略
ディレクター制度創設
119万円



地域創生・経済戦略などの分野における専門家の意見を伺い、市政の参考とするため、みらい戦略ディレクター制度を創設します。

消費税引き上げによる 施設などの料金変更（条例改正）



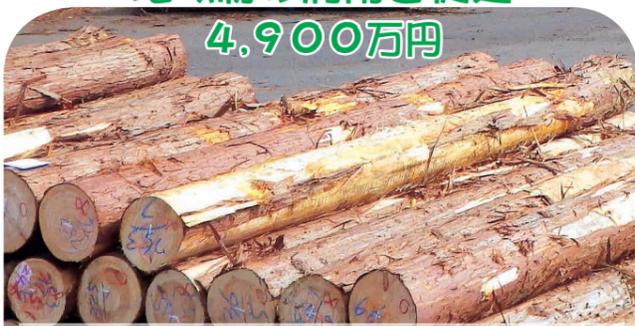
10月からの消費税、地方消費税の税率引き上げにより、市営駐車場や文化センターなどの市内各施設の利用料・使用料を変更（主に値上げ）します。

人間ドック費用を助成
1,517万円
(国民健康保険特別会計)



国民健康保険被保険者（40歳以上75歳未満）の人間ドックにかかる受診費用の助成を行い、重大な病気の早期発見・早期治療や、生活習慣病予防と重症化予防を図ります。

地域材の利用を促進
4,900万円



住宅の新築・リフォームに地域材(*)を利用した際に補助金を交付します。(平成31年度からは岡山県補助制度と合わせ、補助額を最大100万円に拡充)



7月豪雨の災害復旧
4億7,772万円
昨年7月の豪雨災害へ引き続き対応するため、農地・農業用施設や林道等の災害復旧を行います。
※写真は本復旧を待つ加茂川沿い水路

市民と共に歩む議会へ 議会基本条例を制定！



今回の定例会最終日には、議会の基本理念・方針や活動原則などの基本事項を明確化した「津山市議会基本条例」が全議員の賛成により可決されました。
今後、津山市議会では、この条例を活かし、市政へのチェック機能の強化や市民の皆さんに開かれた議会を実現していきます。

ホームページでも詳しく紹介しています。



基本条例6つのポイント

- 1 市民の考えを市政に反映させるため、多様な市民参画の機会を創出します。(第11条)
- 2 多くの市民が議会と市政に関心を持てるよう、広報活動を充実させます。(第12条)
- 3 市長等の事務執行の監視・評価を行うとともに、政策立案などを通じて、議会の役割を最大限に発揮します。(第14条)
- 4 議会審議の論点を明確にし、政策等の水準を高めるため、市長等に対し、必要な資料提供等を求めます。(第15条)
- 5 市長等は予算や決算を議会に提出する場合は、わかりやすい施策別・事業別の説明資料を作成します。(第16条)
- 6 常に市民の意見や社会情勢の変化等を勘案し、定期的にこの条例の検証及び必要な改正を行います。(第24条)



これからも市民の皆さんとの対話を継続します！

5 ※地域材…岡山県の「木材業者等登録」を受けている製材業者が製材した国産材製材品（新築の場合は含水率25%以下のもの）